

第二回 小さな村ビジネスアイデアコンテスト 結果発表 プレスリリース

2018年3月1日

各メディアご担当者さま

平素大変お世話になっております。
一昨年、山梨県丹波山村でスタートした「小さな村ビジネスアイデアコンテスト」はおかげさまで第二回を迎え、今回も、全国各地から沢山のビジネスアイデアをいただきました。
応募総数104ものビジネスアイデアを、村役場職員20名超、NPO理事11名全員による一次書類審査を経て、その中から高い評価を受けたものを、さらに4アイデアを絞り、応募者である4組5名の方々の二次面談（村長、副村長、教育長、総務課長、振興課長、住民課長）を行い、最終協議及び審査によって、最優秀賞、優秀賞を下記の通りに決定しましたのでご報告させていただきます。
つきましては、貴社メディアでご紹介いただけましたら幸いです。

（第二回では特別に優秀賞を追加表彰しました）

フリーアイデア部門		
最優秀賞	いきつけの田舎 touch を使って再生実現	大隅直亮、三田龍彦 大手プロバイダー会社勤務 東京
優秀賞	大学生による丹波山村活性化プロジェクト	松土 拓 地方公務員 山梨

耕作放棄地部門		
優秀賞	花の谷のたばやま	高橋大樹 景観デザイン会社勤務 東京

丹波宿再生部門		
優秀賞	該当なし	

第二回募集概要及び審査経過

“関東一小さな村” 山梨県丹波山村（たばやまむら）が、
日本一難しい課題について“再生ビジネスアイデア”を大募集！！

募集部門：「丹波宿再生」「耕作放棄地再生」「フリーアイデア」

募集期間：2017年10月～12月末日

主催：丹波山村 企画運営：NPO法人小さな村総合研究所

審査経過： 応募総数104 アイデア

→役場全職員+NPO全理事による一次書類全審査 →得票数上位30アイデアを選出

→村長による30アイデア全書類審査 → 上位3アイデアと村長推薦1アイデアを選出

→2月中旬に4組の応募者全員と二次面談（村長・副村長・教育長・全課課長）

審査結果：最優秀賞1 優秀賞2

最優秀賞副賞：記念楯、10万円

受賞式：3月15日13時半～

問い合わせ先：運営事務局 NPO 法人小さな村総合研究所 0428-88-0611